

漁況海況予報事業（昭和57年度）

1 実施状況

(1) 実施機関および担当者名

鳥取県水産試験場

境港分場長 佐野 茂

研究員 川口 哲夫

第一鳥取丸乗組 13名

(2) 沿岸定線調査

イ 実施調査船

船名 第一鳥取丸

船長名 前田 勝美

乗組員数 13名

調査船要目

噸数 147.87トン、馬力800HP、速力10.5ノット。

測深機 ワイヤー長 200m

魚群探知機

機種 海上電機 W-33AR-22


W-333-CKR-332J


周波数 15KHz、24KHz、75KHz、200KHz。

測深範囲 0～3,200m

記録紙 湿式

その他の観測機器

C.T.D、B.T、防・被圧転倒寒暖計、電気水温計、透明度板、転倒採水器、ネット、

Norpac Net、ネット

ロ 観測定線概要図（別図のとおり）

ハ 調査項目

気象（天候、風向、風力、気温、気圧、雲量、雲形）

海象（水色、透明度、波向、波浪、ウネリ、海深、汐目、海鳥、海光、変色水、急潮、海鳴、海流）

（魚卵、稚魚、プランクトンの採集）

測温（観測層 0、10、20、30、50、75、100、150、200、300m）

塩検用採水（観測層 同 上）

ニ 実施概要

調 査 年 月 日	船 名	測点数	欠測点数	調 査 員 名
昭和57年 4月 1日～ 4月 5日	第1鳥取丸	33	0	前 田 勝 美 (川 口 哲 夫)
〃 4月 30日～ 5月 6日	〃	33	0	〃
〃 9月 30日～10月 1日	〃	20	0	〃
〃 11月 4日～11月 5日	〃	20	0	〃
〃 3月 4日～ 3月 9日	〃	30	3	〃

(3) 漁場一斉調査

イ 実施調査船

沿岸定線調査と同じく第1鳥取丸を使用し調査船要目も同様である。

ロ 観測定線概要図

別図のとおり

ハ 調査項目

気象・海象・卵稚仔・プランクトン採集・測温・塩検用採水については沿岸定線観測と同様であるが、この他にスルメイカ釣獲試験を実施した。

ニ 実施概要

調 査 年 月 日	船 名	測点数	欠測点数	調 査 員 名
昭和57年 8月 30日～ 9月 4日	第1鳥取丸	30	1	川 口 哲 夫

2 調査研究結果

(1) 海洋状態の推移と特徴

4月：4月上旬の山陰沖合における海況は表面水温が沿岸部で12～13℃、沖合では9～12℃台、50m層では沿岸部で12～13℃、沖合では8～12℃台であった。暖水域は日御碕沖より隠岐島北西海域を北に張り出しており、一方、隠岐島東方海域にも暖水域があって北方に張り出していた。冷水域は隠岐島北方海域にあり白島沖に強く張りだしている。

水温の年差は表面水温が年並、50m層でも年並であるが、冷水域では1℃低く、暖水域では1℃高めに経過した。

5月：5月上旬の海況は表面水温が沿岸部で15～16℃、沖合では13～15℃台、50m層では沿岸部で14～15℃、沖合では10～13℃台であった。暖水域は日御碕沖より隠岐島の北東沖合に張り出しており、竹島南側と若狭湾沖合にも暖水域が認められた。冷水域は竹島東側海域より南西に張り出しており、一方、隠岐堆海域より網代沖合に張りだしている冷水域が認められる。水温の年差は表面では隠岐島より西側の海域で年並、鳥取・兵庫県沖合では1～2℃高めに経過し、50m層水温で

は沿岸・沖合ともほぼ平年並であった。

6月：6月上旬の山陰沖合における海況は表面水温が沿岸部で18～20℃、沖合では15～17℃台、50m層では沿岸部が15～18℃、沖合では10～14℃台であった。暖水域は隠岐島の西側より北方に強く張り出しており、また、柴山沖にも暖水域があって隠岐堆海域に張り出していた。冷水域は隠岐堆北方より隠岐島東側にかけて張り出しており、その勢力は強く、なお、若狭湾沖合と浜田沖にも冷水域が張り出していた。

水温の平年差は表面では沿岸部で平年並か1℃高め、沖合では1℃低めであった。50m層では暖水域が平年並か1℃高め、冷水域では1～2℃低めであった。

7月：7月上旬の海況は表面水温が沿岸部で22～24℃、沖合では21～23℃台であり、50m層水温は沿岸部が15～18℃、沖合では10～14℃台であった。暖水域は隠岐島東側と竹島南海域より大和堆西側海域にそれぞれ張り出していた。また、ウッリョウ島南方海域より竹島北方海域に張り出していた。冷水域は、大和堆海域より山陰若狭沖合に向けて張り出しており、その勢力は極めて強勢であった。一方、ウッリョウ島、竹島北方にも強い冷水域があって隠岐島西側より日御碕沖合に張り出していた。

水温の平年差は表層水温が沿岸部で1℃高め、沖合では1～2℃高め、50m層では沿岸部が平年並か1℃低め、沖合では暖水域で平年並か2℃高め、冷水域では1～4℃低めであった。

8月：8月上旬の海況は表面水温が沿岸部で25℃台、沖合では23～24℃台であり、50m層水温は沿岸部で16～23℃、沖合で11～17℃台であった。暖水域は日御碕沖より北に張り出しその先端は沖大和堆西側海域に達しており、一方、鳥取県沖合にも暖水域の張り出しが強く、隠岐堆海域より隠岐島北方と若狭湾沖合に張り出しておりその勢力は極めて強い。

水温の平年差は表面水温が平年より1～2℃低め、50m層は沿岸部の暖水域では平年並であったが、冷水域では1～3℃低めに経過した。

9月：9月上旬の海況は表面水温が沿岸部で24～26℃、沖合では23～24℃台、50m層水温は沿岸部で18～23℃、沖合が10～18℃台であった。暖水域は隠岐島南東海域にあって北方に張り出しており、一方、竹島南方海域にも暖水域があって北東に張り出してその勢力は強い。冷水域は隠岐堆北側にあり、これより青谷沖と経ヶ岬沖にそれぞれ張り出していた。また、竹島北方海域には強勢な冷水域が形成されていた。

水温の平年差は表面水温が沿岸沖合ともに1～2℃低め、50m層では暖水域で1℃高め、冷水域では1～4℃低めに経過した。

10月：10月上旬の海況は表面水温が沿岸部で22℃台、沖合では21℃であり、50m層では沿岸部が17～22℃、沖合が9～16℃台であった。暖水域は日御碕沖より北西に張り出しており、経ヶ岬沖にも優勢な暖水域がある。一方、山陰・若狭冷水域は隠岐堆北側にあって隠岐島東側海域に張り出していた。

水温の平年差は表面では1℃低め、50m層では冷水域が2～5℃低め、暖水域でも1～2℃低めに経過した。

11月：11月上旬の海況は表面水温が沿岸部で19～21℃、沖合では18～20℃台であり、50m層では沿岸部が18～21℃、沖合では暖水域で18～20℃、冷水域では15～19℃台であった。暖水域は

隠岐島周辺より北方に張り出しその勢力は強い。冷水域は竹島海域より隠岐島西方及び浜田沖合に張り出し強い潮目を形成しており、一方、山陰・若狭沖冷水域は隠岐堆北方より網代沖に張り出していた。

水温の年差は表面がほぼ年並、50m層では暖水域で年並か1℃高め、冷水域では1～2℃低めであった。

2月：2月上旬の海況は表面水温が10～12℃、50m層では10～11℃台であった。水温の年差は表面水温が1℃低め、50m層では年並か1℃低めで経過した。

3月：3月上旬の山陰沖合における海況は表面水温が沿岸部で11～12℃、沖合では9～11℃台であり、50m層では沿岸部が11～13℃、沖合では9～10℃台であった。暖水域は日御碕沖より、隠岐島の西側に張り出していた。冷水域は隠岐堆上にあつて隠岐島の東側海域より網代沖に張り出しており、一方、竹島南方海域より浜田沖に張り出している冷水域がある。

水温の年差は沿岸部でやや高め、沖合でやや低めに経過した。

(2) 主要魚種の漁況の推移と特徴

4月：大・中型巾着網の漁獲量は14,583トン、1日1統当り52トン、魚種の割合はマイワシ68%、サバ29%、アジ2%であった。漁況はマイワシ中羽主体に漁況は極めて好調に推移した。

小型巾着網は漁獲量が7,244トン、魚種の割合はマイワシ77%、サバ22%、アジ1%でありマイワシ中羽主体に漁況は極めて好調に経過した。

5月：大・中型巾着網の漁獲量は24,060トン、1日1統当り71トン、魚種の割合はマイワシ69%、サバ27%、アジ3%でありマイワシ中羽主体に豆サバの漁獲により漁況は好調に経過した。

小型巾着網の漁獲量は6,436トン、1日1統当り34トン、魚種の割合はマイワシ64%、サバ30%、アジ2%、カタクチイワシ2%、ウルメイワシ1%であり漁況は前月につづいて極めて好調に経過した。

スルメイカ漁業は生船の漁獲量が267トン、1航海当り1.8トン、冷凍船が9トン、1航海当り45トンの合計276トンで漁況は例年並に経過した。

6月：大・中型巾着網の漁獲量は10,497トン1日1統当り370トン、魚種の割合はマイワシ76%、サバ14%、アジ7%、ウルメイワシ4%で、マイワシ中羽主体に漁獲され漁況は順調に推移した。

小型巾着網は漁獲量が4,394トン、1日1統当り20トン、魚種の割合はマイワシ68%、サバ17%、アジ9%、ウルメイワシ2%、カタクチイワシ1%でありマイワシ中羽主体に漁況は順調に経過した。

スルメイカ漁業は生船の漁獲量が749トン、一航海当り3.5トン、冷凍船の漁獲量は500トン、一航海当り11.4トンの合計1,249トンで漁況は例年並に経過した。

7月：大・中型巾着網の漁獲量は6,030トン、1日1統当り26トン、魚種の割合はサバ36%、ウルメイワシ24%、その他(クロマグロ主体)23%、マイワシ14%、アジ2%、カタクチイワシ1%であった。7月は大型巾着網によって、クロマグロの大量水揚が認められたが、総漁獲量では近年のなかでは最低を示した。

小型巾着網の漁獲量は4,282トン、1日統当り13トン、魚種の割合はマイワシ60%、サバ17%、ウルメイワシ11%、アジ5%、その他(ハマチ主体)7%であり漁況はマイワシ小羽主体に好調に経過した。

スルメイカ漁業は生船の漁獲量が906トン、1航海当り5.3トン、冷凍船の漁獲量は947トン、1航海当り20トンの合計1,853トンで漁況は平年並であった。

8月：大・中型巾着網の漁獲量は2,884トン、1日1統当り25トン、魚種の割合はマイワシ68%、サバ11%、アジ11%、ウルメイワシ5%、カタクチイワシ4%であった。夏枯期に入り漁獲は極めて少ないが漁況は例年に経過した。

小型巾着網の漁獲量は2,758トン、1日1統当り17トン、魚種の割合はマイワシ87%、サバ5%、アジ3%、ウルメイワシ2%、カタクチイワシ1%であり、マイワシ小羽主体に漁況は順調であった。

スルメイカ漁業は生船の漁獲量は980トン、1航海当り6.0トン、冷凍船の漁獲量は658トン、1航海当り26トンの合計1,638トンであった。漁獲量は近年の最低を示しており漁況は低調に経過した。

9月：大・中型巾着網の漁獲量は3,066トン、1日1統当り16トン、魚種の割合はアジ33%、マイワシ31%、サバ19%、ウルメイワシ7%、カタクチイワシ6%であった。漁況は豆アジ、マイワシ小羽主体の漁獲であったが低調に推移した。

小型巾着網の漁獲量は1,514トン、1日1統当り8トン、魚種の割合はアジ29%、マイワシ26%、その他(ハマチ主体)20%、サバ16%、ウルメイワシ5%、カタクチイワシ4%であり、豆アジ、マイワシ小羽主体に漁況は低調であった。

スルメイカ漁業は生船の漁獲量が1,145トン、1航海当り5.9トン、冷凍船の漁獲量は231トン、1航海当り25トンの合計1,376トンであった。総漁獲量は近年の最低を示したが、1航海当りでは例年並であった。

10月：大・中型巾着網の漁獲量は2,806トン、1日1統当り16トン、魚種の割合はサバ31%、マイワシ30%、アジ23%、ウルメイワシ7%、カタクチイワシ5%、その他(ハマチ主体)4%であり、漁獲量は少ないが10月としては例年並の漁況で推移した。

小型巾着網の漁獲量は1,740トン、1日1統当り8トン、魚種の割合はアジ43%、その他(ハマチ主体)22%、サバ18%、マイワシ14%、ウルメイワシ2%であり、豆アジ、ハマチ主体の漁況であった。

スルメイカ漁業は生船の漁獲量が1,616トン、1航海当り6.2トン、冷凍船の漁獲量が920トン、1航海当り23.0トンの合計2,536トンであった。本月の漁獲量は例年に比較して倍増し漁況は極めて好調に経過した。

11月：大・中型巾着網の漁獲量は7,182トン、1航海当り56トン、魚種の割合はマイワシ45%、サバ25%、カタクチイワシ13%、ウルメイワシ9%、その他5%、アジ3%であった。漁況は小羽イワシ、豆サバ主体に不調で推移した。

小型巾着網の漁獲量は1,211トン、1日1統当り7トン、魚種の割合はカタクチイワシ40%、サバ22%、その他(ハマチ主体)28%、アジ7%、マイワシ2%、ウルメイワシ1%であり漁況は低調であった。

スルメイカ漁業は生船の漁獲量が1,411トン、1航海当り6.7トン、冷凍船の漁獲量は1,368トン、1航海当り21.7トンの合計2,779トンであり漁況は順調に推移した。

12月：大・中型巾着網の漁獲量は25,308トン、1日1統当り149トン、魚種の割合はマイワシ54%、サバ41%、その他4%、アジ1%であった。

12月に入ってマイワシ大・中羽、豆・小サバの南下群が来遊し漁況は極めて好調に経過した。

小型巾着網の漁獲量は1,563トン、1日1統当り97トン、魚種の割合はサバ38%、マイワシ30%、カタクチイワシ21%、アジ7%であり漁況は低調に推移した。

スルメイカ漁業は生船の漁獲量が748トン、1航海当り2.5トン、冷凍船の漁獲量は961トン、1航海当り14.6トンの合計1,709トンであった。漁況は12月としては好調に推移し近年の中では最も漁獲量が多かった。

1月：大・中型巾着網の漁獲量は27,915トン、1日1統当り153トン、魚種の割合はマイワシ63%、サバ37%で大・中羽マイワシ、豆小サバ主体に漁況は極めて好調に経過した。

小型巾着網の漁獲量は2,382トン、1日1統当り29トン、魚種の割合はマイワシ61%、サバ20%、カタクチイワシ18%、アジ1%であり、マイワシ中羽主体に漁況は好調に経過した。

スルメイカ漁業は生船の漁獲量が506トン、1航海当り(1~2日)1.1トンであり、漁場が沿岸寄りであったため冷凍船も全船生鮮イカを水揚げした。漁況は冬生れ群の来遊が多く漁況は好調に経過した。

2月：大・中型巾着網の漁獲量は15,334トン、1日1統当り94トン、魚種の割合はマイワシ52%、サバ44%、アジ3%であり、大・中羽マイワシ、豆・小サバ主体に漁況は好調に経過した。

小型巾着網の漁獲量は3,382トン、1日1統当り48トン、魚種の割合はマイワシ88%、サバ11%、アジ1%であり、マイワシ中羽、豆・小サバ主体に漁況は好調であった。

スルメイカ漁業は生鮮イカの漁獲量が420トン、1航海当り0.8トン、冷凍イカの漁獲量は5トンの合計425トンであり漁況は順調に経過した。

3月：大・中型巾着網の漁獲量は17,332トン、1日1統当り68トン、魚種の割合はマイワシ76%、サバ14%、アジ7%であり、マイワシ大・中羽主体に漁況は極めて好調であった。

小型巾着網の漁獲量は4,919トン、1日1統当り38トン、魚種の割合はマイワシ84%、サバ9%、アジ4%であり、マイワシ中羽主体に漁況は極めて好調に経過した。

(3) 昭和57年における主要魚種の資源評価

イ マ ア ジ

昭和57年の境港において大・中型巾着網で漁獲されたマアジは9,761トン、1日1統当り平均漁獲量は4トン、総漁獲量に占める割合は7%であつた。山陰沖合におけるマアジの資源変動は昭和35年頃より急減して、40年代には1万トン以下の漁獲量に減少し、50年代に入って2,000トン以下とその資源は低迷している。本年は前年に比較し約6,700トン増加し、やや上向き傾向が認められるが、この海域におけるマアジ資源は低水準で推移している。

ロ マ サ バ

昭和57年の境港において大・中型巾着網で漁獲されたマサバは49,692トン、1日1統当り平均漁獲量は20.3トン、総漁獲量に占める割合は36%であつた。マサバ漁獲量の長期変動は昭和45年頃より急増し、昭和52年には10万8千トンと最高漁獲を示したが53年には半減し、56年には3万トン台まで減少した。本年は昨年に比較し約1.5万トン増加しており、資源はまだ高水準を示している。

ハ マイワシ

昭和57年境港におけるマイワシの漁獲量は大・中型巾着網が69,047トン、1日1統当り平均漁獲量は28.2トン、総漁獲量に占める割合は50%であった。

境港におけるマイワシ漁獲量の経年変動は、昭和48年より増加しはじめ51～53年には3万トン台、54年には6万トン台、56年には11.8万トンと急増をつづけたが本年は約7万トンと急激したもののマイワシの資源は高水準で推移している。

ニ ウルメイワシ

昭和57年境港の大・中型巾着網で漁獲されたウルメイワシは3,327トン、1日1統当り1.4トン、総漁獲量に占める割合は2%であった。

ウルメイワシの漁獲量は近年増加傾向がみられたが、昭和56年より減少傾向がみられ、その資源水準は低水準で経過した。

ホ カタクチイワシ

昭和57年の境港の大・中型巾着網で漁獲されたカタクチイワシは1,514トン、1日1統当り0.6トン、総漁獲量に占める割合は1%であった。

山陰沖合におけるカタクチイワシの資源は近年低水準で推移しており、巾着網の漁獲量は極めて少ない。

ヘ スルメイカ

昭和57年の境港における沖合スルメイカの漁獲量は生船が9,003トン、1航海当り31トン、冷凍船は5,608トン、1航海当り18.7トンの合計14,611トンで昨年より2,115トン増加している。

日本海におけるスルメイカの資源水準については、昭和52年より急減しており、昨年よりはやや増加しているものの資源は低水準のまま経過している。

表一 1—(1) 1982年境港巾着網漁獲高(大・中型)

()内は%

月	総漁獲高 (トン)	延出 数	1日1統当 (トン)
1	15,311	159	96.3
2	16,800	253	66.4
3	9,096	136	66.9
4	14,583	279	52.3
5	24,060	339	71.0
6	10,497	284	37.0
7	6,030	228	26.4
8	2,884	114	25.3
9	3,066	186	16.5
10	2,806	176	15.9
11	7,182	128	56.1
12	25,308	170	148.9
計	137,623	2,452	56.1

月	かたくち		まいわし		うるめいわし		さ		あ		じ		その他	
	漁獲高 (トン)	1日1統当 (トン)	漁獲高 (トン)	1日1統当 (トン)	漁獲高 (トン)	1日1統当 (トン)	漁獲高 (トン)	1日1統当 (トン)	漁獲高 (トン)	1日1統当 (トン)	漁獲高 (トン)	1日1統当 (トン)	漁獲高 (トン)	1日1統当 (トン)
1	—	—	1,791 (11)	11.3	35	0.2	10,752 (70)	67.6	2,607 (17)	16.4	126 (1)	0.8	—	—
2	—	—	4,440 (26)	17.5	—	—	9,175 (55)	36.3	2,893 (17)	11.4	292 (2)	1.2	—	—
3	—	—	7,072 (77)	52.0	—	—	1,447 (16)	10.6	139 (2)	1.0	438 (5)	3.2	—	—
4	11 (0.1)	—	9,887 (68)	35.4	33 (0.2)	0.1	4,215 (29)	15.1	261 (2)	0.9	176 (1)	0.6	—	—
5	—	—	16,537 (69)	48.8	97 (0.4)	0.3	6,516 (27)	19.2	617 (3)	1.8	293 (1)	0.7	—	—
6	1	—	7,940 (76)	28.0	369 (4)	1.3	1,428 (14)	5.0	719 (7)	2.5	40 (0.4)	0.1	—	—
7	47 (1.1)	—	841 (14)	3.7	1,457 (24)	6.4	2,155 (36)	9.5	117 (2)	0.5	413 (7)	6.2	—	—
8	112 (4)	1.0	1,959 (68)	17.2	155 (5)	1.4	305 (11)	2.7	331 (11)	2.9	22 (1)	0.2	—	—
9	180 (6)	1.0	959 (31)	5.2	228 (7)	1.2	592 (19)	3.2	1,023 (33)	5.5	84 (3)	0.5	—	—
10	133 (5)	0.8	848 (30)	4.8	204 (7)	1.2	863 (31)	4.9	645 (23)	3.7	113 (4)	0.6	—	—
11	930 (13)	7.2	3,218 (45)	25.1	654 (9)	5.1	1,785 (25)	13.9	245 (3)	1.9	350 (5)	2.7	—	—
12	100	0.6	13,555 (54)	79.7	95	0.6	10,459 (41)	61.5	164 (1)	1.0	935 (4)	5.5	—	—
計	1,514 (1)	0.6	69,047 (50)	28.2	3,327 (2)	1.4	49,692 (36)	20.3	9,761 (7)	4.0	4,282 (3)	1.7	—	—

表一 1—(2) 1983年境港巾着網漁獲高(大・中型)

()内は%

月	総漁獲高 (トン)	延出 数	1日1統当 (トン)
1	27,915	182	153
2	15,334	164	94
3	17,332	253	68

月	かたくち		まいわし		うるめいわし		さ		あ		じ		その他	
	漁獲高 (トン)	1日1統当 (トン)	漁獲高 (トン)	1日1統当 (トン)	漁獲高 (トン)	1日1統当 (トン)	漁獲高 (トン)	1日1統当 (トン)	漁獲高 (トン)	1日1統当 (トン)	漁獲高 (トン)	1日1統当 (トン)	漁獲高 (トン)	1日1統当 (トン)
1	—	—	17,460 (63)	95.9	4	—	10,240 (37)	56.3	127 (3)	0.7	84 (1)	0.5	—	—
2	—	—	8,046 (52)	49.1	—	—	6,730 (44)	41.0	450 (3)	2.7	108 (1)	0.7	—	—
3	—	—	13,093 (76)	51.8	1	—	2,508 (14)	9.9	1,162 (7)	4.6	568 (3)	2.2	—	—

表一2一(1) 1981年境港巾着網漁獲高(小型)

月	総漁獲高 (トン)統	延出漁 数	1日1統当 り(トン)
1	1,222	81	15.1
2	4,336	119	36.4
3	3,980	122	32.6
4	7,244	214	33.9
5	6,436	191	33.7
6	4,394	215	20.4
7	4,282	321	13.3
8	2,758	157	17.6
9	1,514	180	8.4
10	1,740	211	8.2
11	1,211	185	6.5
12	1,563	161	9.7
計	40,680	2,157	18.9

()内は%

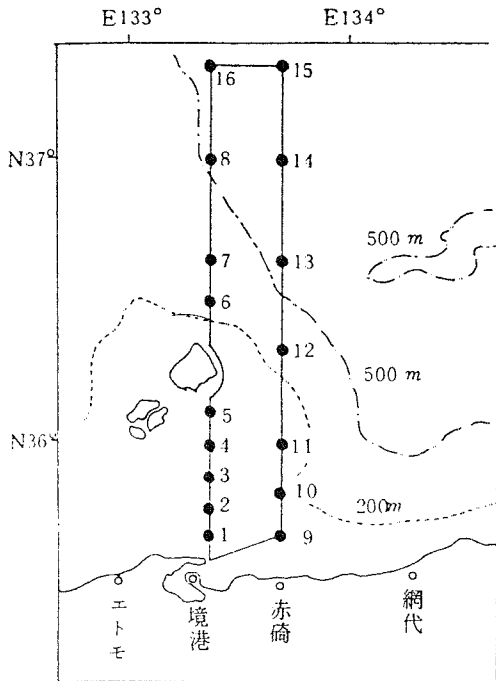
月	かたくち		まいわし		うるめいわし		さ		あ		じ		その他	
	漁獲高 (トン)	1日1統当 り(トン)	漁獲高 (トン)	1日1統当 り(トン)	漁獲高 (トン)	1日1統当 り(トン)	漁獲高 (トン)	1日1統当 り(トン)	漁獲高 (トン)	1日1統当 り(トン)	漁獲高 (トン)	1日1統当 り(トン)	漁獲高 (トン)	1日1統当 り(トン)
1	149 (12)	1.8	322 (26)	3.9	7 (1)	0.1	479 (39)	5.9	254 (21)	3.1	11 (1)	0.1	11 (1)	0.1
2	32 (1)	0.3	3,086 (71)	25.9	—	—	946 (22)	7.9	175 (4)	1.5	97 (2)	0.8	97 (2)	0.8
3	—	—	3,086 (78)	25.3	—	—	783 (20)	6.4	48 (1)	0.4	63 (2)	0.5	63 (2)	0.5
4	—	—	5,574 (77)	26.0	1	—	1,568 (22)	7.3	55 (1)	0.3	46 (1)	0.2	46 (1)	0.2
5	114 (2)	0.6	4,149 (64)	21.7	51 (1)	0.3	1,922 (30)	10.1	139 (2)	0.7	61 (1)	0.3	61 (1)	0.3
6	5 (1)	—	2,993 (68)	13.9	99 (2)	0.5	737 (17)	3.4	378 (9)	1.8	182 (4)	0.8	182 (4)	0.8
7	31 (1)	0.1	2,562 (60)	8.0	452 (11)	1.3	730 (17)	2.3	222 (5)	0.7	285 (7)	0.9	285 (7)	0.9
8	36 (1)	0.2	2,392 (87)	15.2	65 (2)	0.4	138 (5)	0.9	94 (3)	0.4	33 (1)	0.2	33 (1)	0.2
9	60 (4)	0.3	387 (26)	2.2	82 (5)	0.5	247 (16)	1.4	441 (29)	2.5	297 (20)	1.7	297 (20)	1.7
10	8	—	238 (14)	1.1	43 (2)	0.2	317 (18)	1.5	756 (43)	3.6	378 (22)	1.8	378 (22)	1.8
11	484 (40)	2.6	21 (2)	0.1	11 (1)	0.1	268 (22)	1.4	87 (7)	0.5	340 (28)	1.8	340 (28)	1.8
12	331 (21)	2.1	469 (30)	2.9	1	—	598 (38)	3.7	114 (7)	0.7	50 (3)	0.3	50 (3)	0.3
計	1,250	0.6	25,279	11.7	812	0.4	8,733	4.0	2,763	1.3	1,843	0.9	1,843	0.9

表一2一(2) 1982年境港巾着網漁獲高(小型)

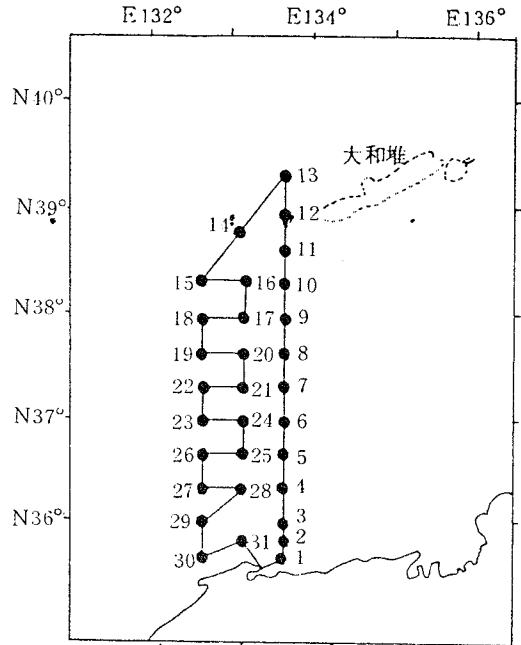
月	総漁獲高 (トン)統	延出漁 数	1日1統当 り(トン)
1	2,382	82	29
2	3,382	70	48
3	4,919	128	38

()内は%

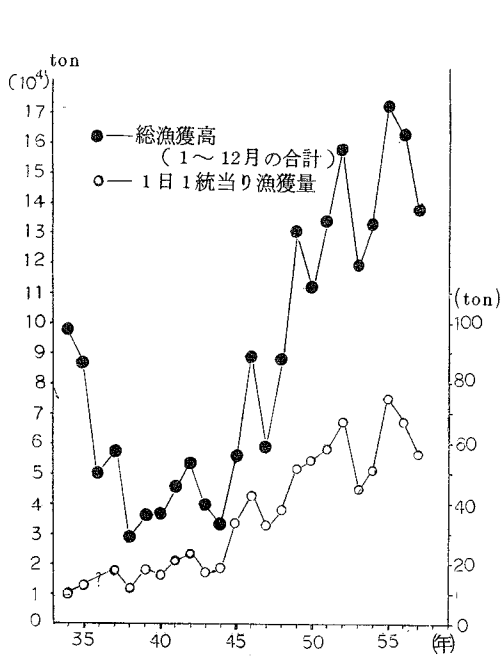
月	かたくち		まいわし		うるめいわし		さ		あ		じ		その他	
	漁獲高 (トン)	1日1統当 り(トン)	漁獲高 (トン)	1日1統当 り(トン)	漁獲高 (トン)	1日1統当 り(トン)	漁獲高 (トン)	1日1統当 り(トン)	漁獲高 (トン)	1日1統当 り(トン)	漁獲高 (トン)	1日1統当 り(トン)	漁獲高 (トン)	1日1統当 り(トン)
1	400 (18)	4.9	1,462 (61)	17.8	1	—	477 (20)	5.8	31 (1)	0.4	11 (1)	0.1	11 (1)	0.1
2	13	—	2,963 (88)	42.3	—	—	358 (11)	5.1	40 (1)	0.6	8 (1)	0.1	8 (1)	0.1
3	—	—	4,138 (84)	32.3	—	—	466 (9)	3.6	198 (4)	1.5	117 (2)	1.4	117 (2)	1.4



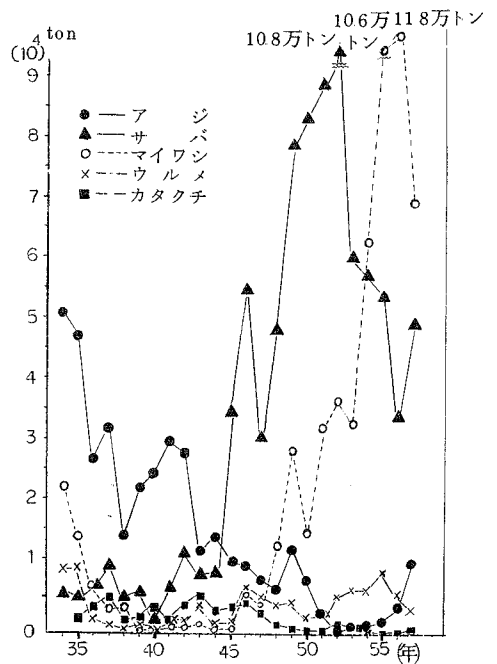
図一 沿岸定線点図



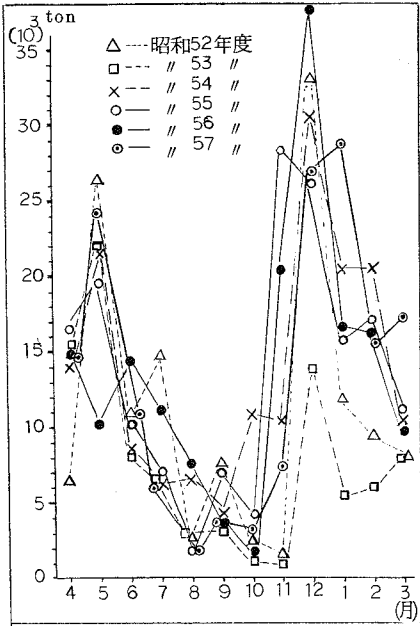
図二 スルメイカ漁場一斉調査定点図



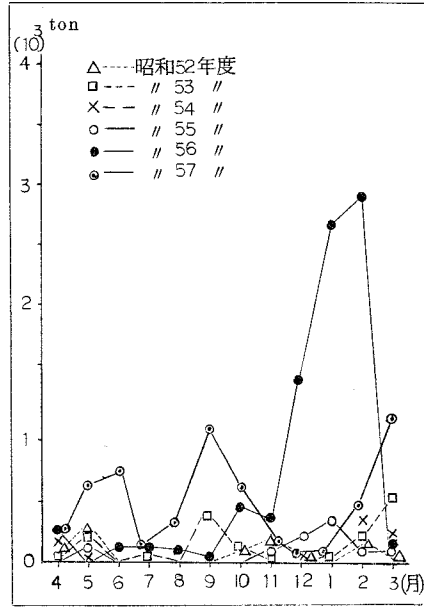
図三 境港における巾着網漁獲量の経年変化(大・中型巾着網)



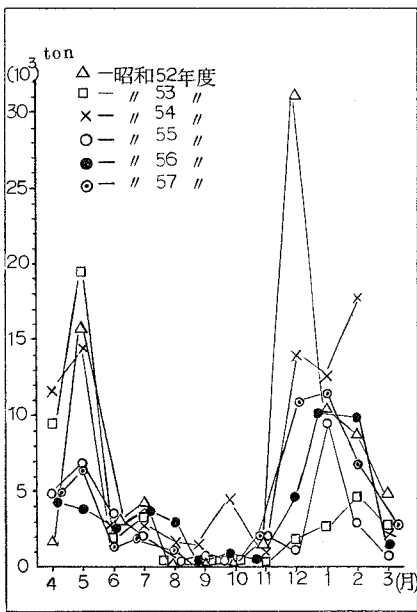
図四 境港における巾着網の魚種別経年変化(大・中型巾着網)



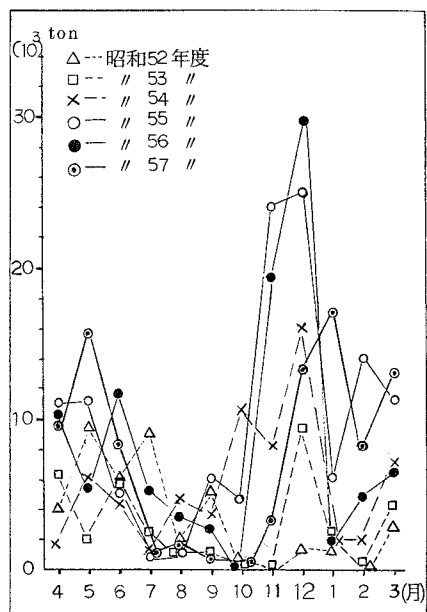
図一五 境港における巾着網月別
総漁獲高(大・中型)



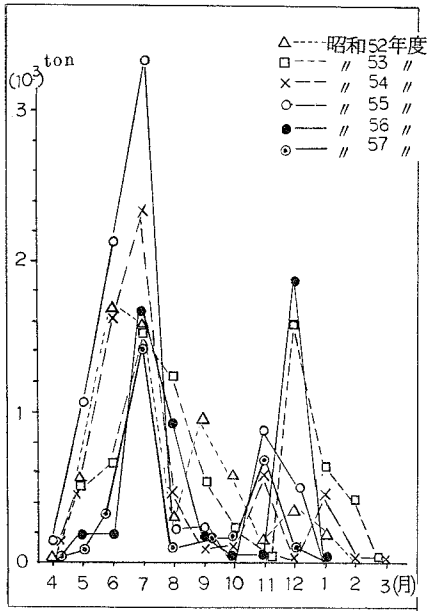
図一六 境港におけるアジの月別
漁獲高(大・中型)



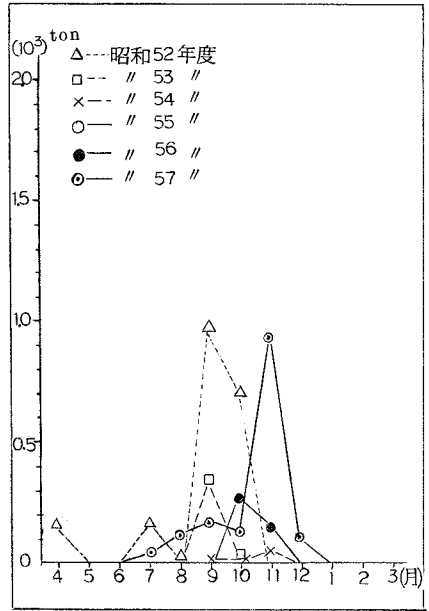
図一七 境港におけるサバの月別
漁獲高(大・中型)



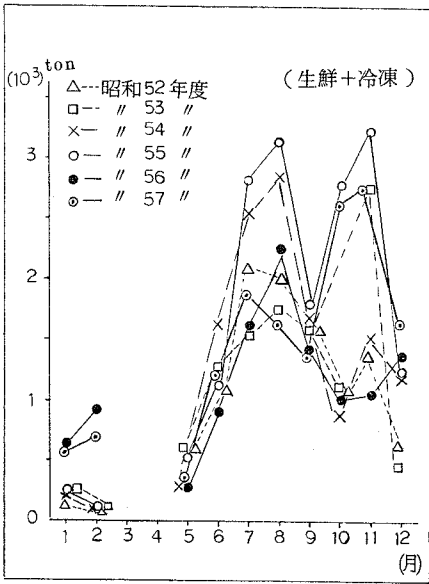
図一八 境港におけるマイワシの
月別漁獲高(大・中型)



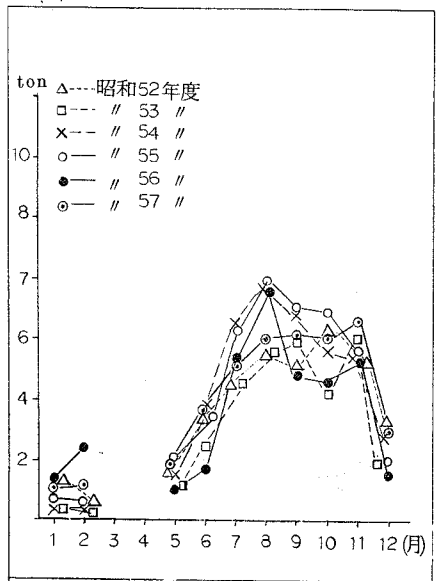
図一〇 境港におけるウルメイワシの月別漁獲高(大・中型)



図一〇 境港におけるカタクチイワシの月別漁獲高(大・中型)

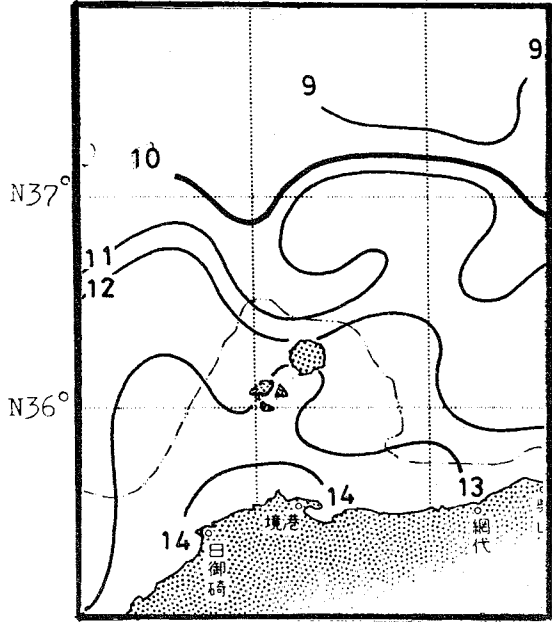


図一一 境港におけるスルメイカ月別漁獲量



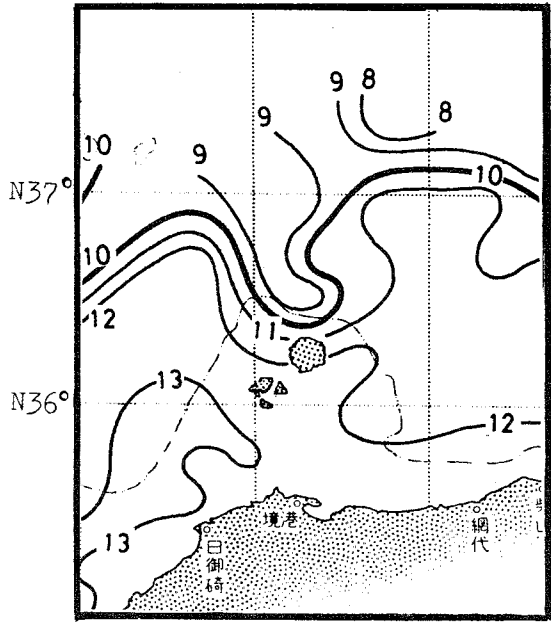
図一二 境港におけるスルメイカ生船1航海漁獲量

E133° E134°



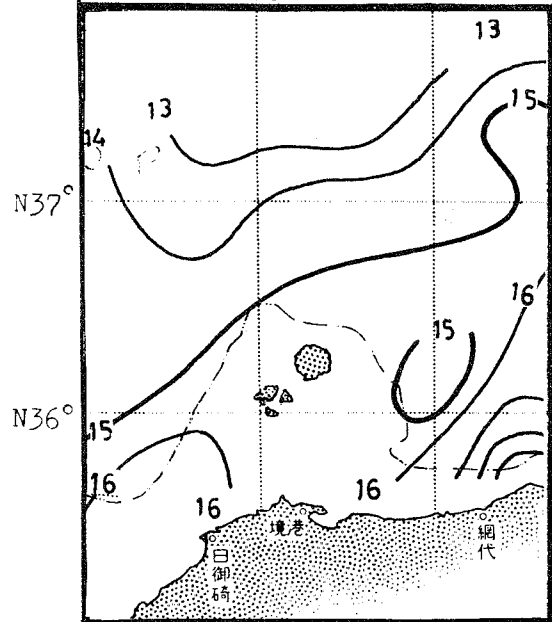
1982年4月上旬
表面水温(°C)

E133° E134°



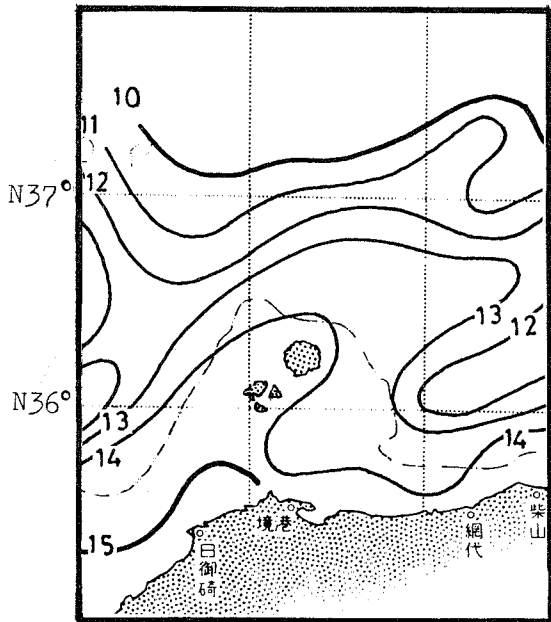
1982年4月上旬
50 m層

E133° E134°



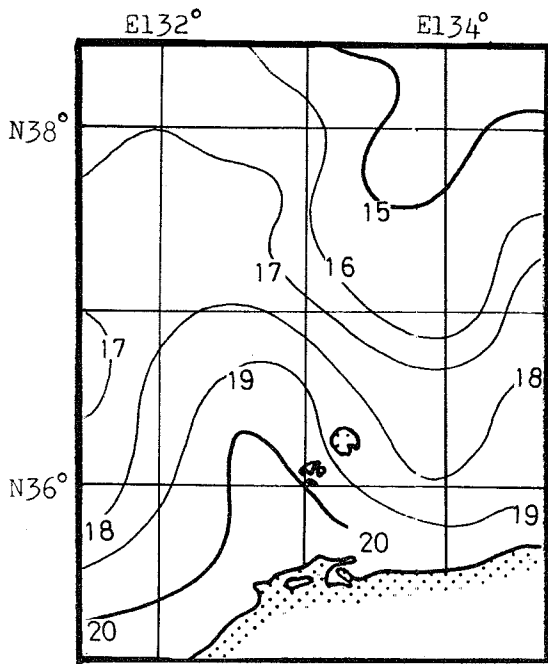
1982年5月上旬
表面水温(°C)

E133° E134°

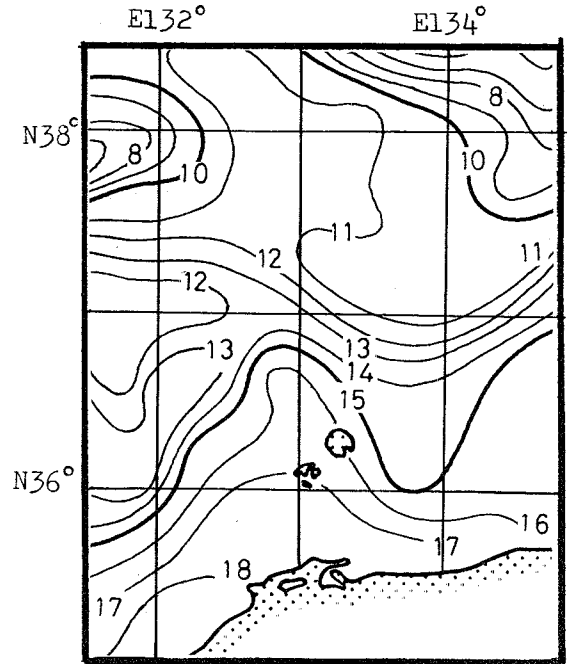


1982年5月上旬
50 m層

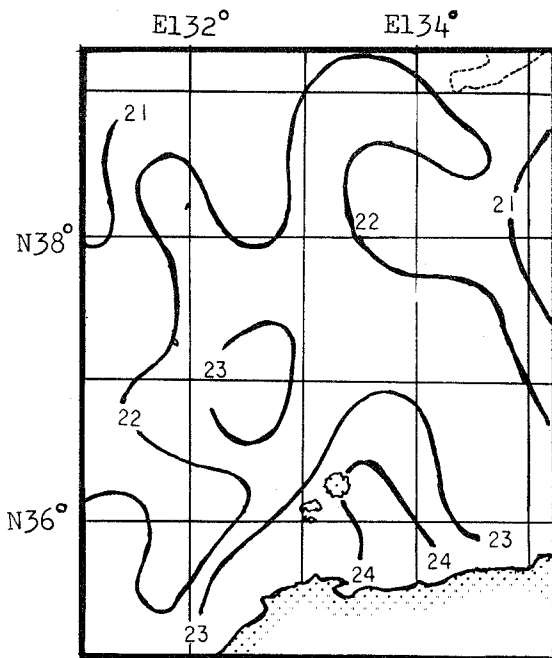
図-13(1) 鳥取県沖合の水温水平分布



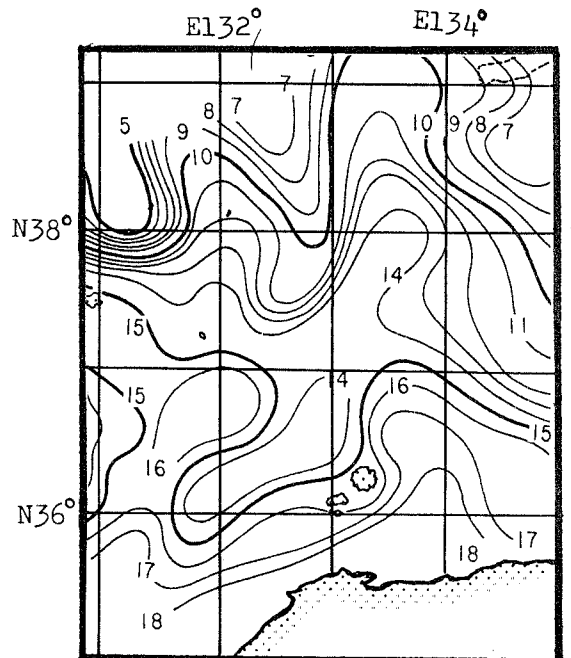
1982年6月上旬
表面水温(°C)



1982年6月上旬
50 m層

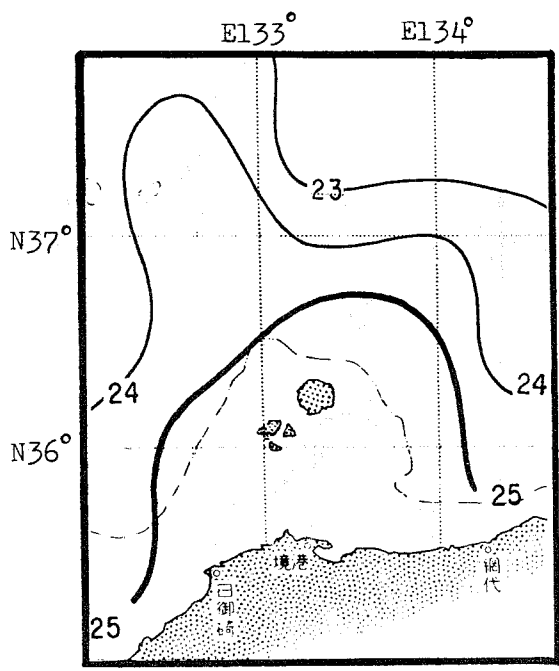


1982年7月上旬
表面水温(°C)

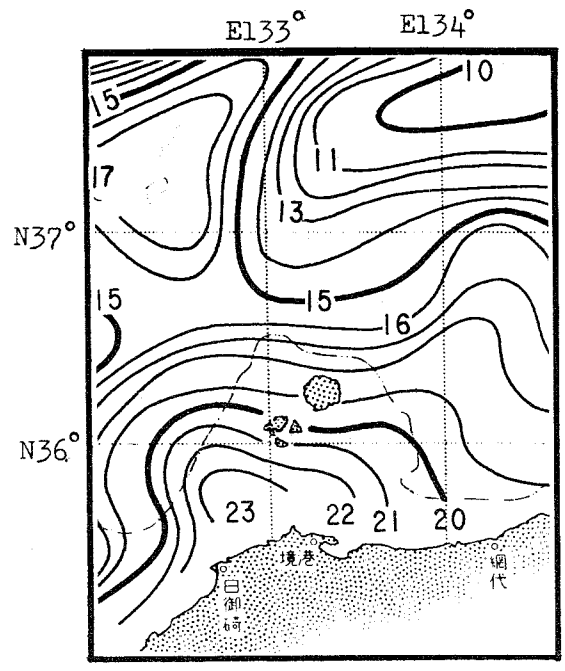


1982年7月上旬
50 m層

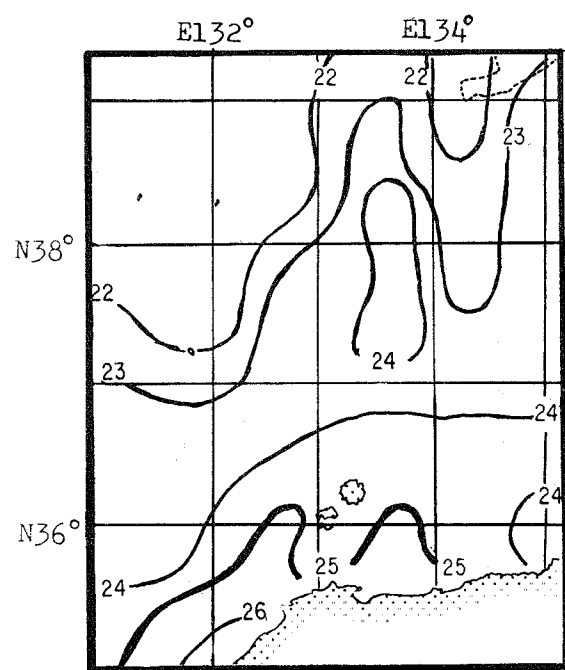
図-13(2) 鳥取県沖合の水温水温水平分布



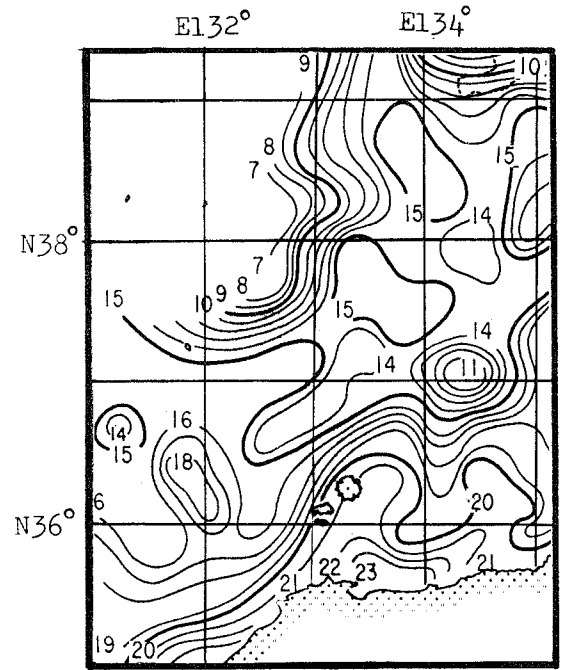
1982年8月上旬
表面水温(°C)



1982年8月上旬
50 m層

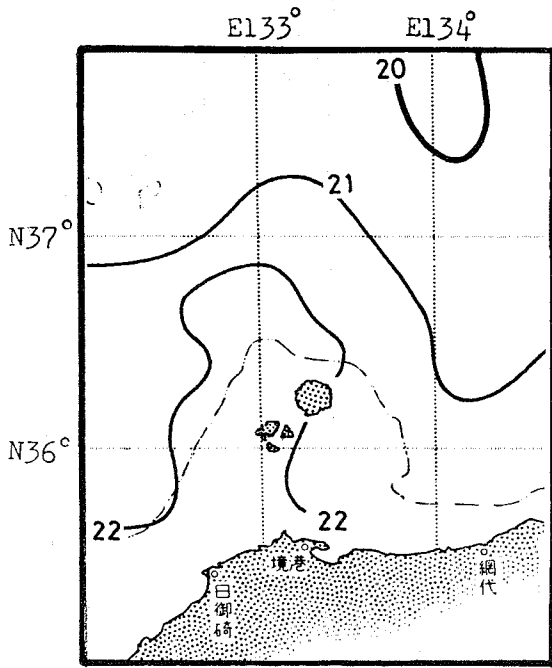


1982年9月上旬
表面水温(°C)

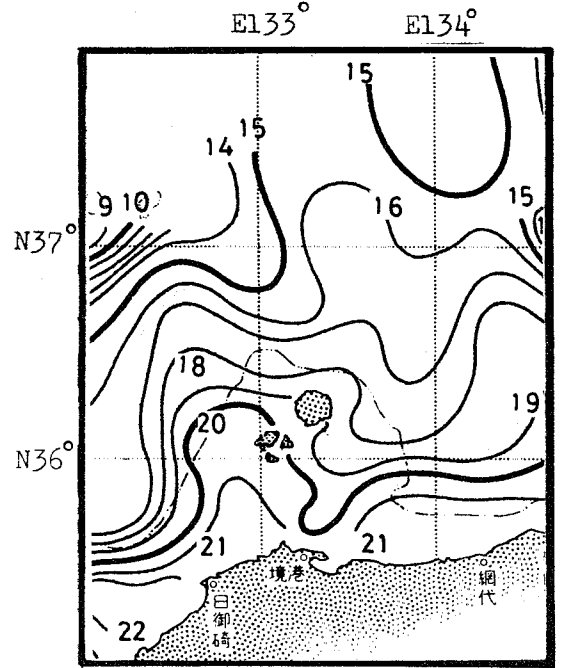


1982年9月上旬
50 m層

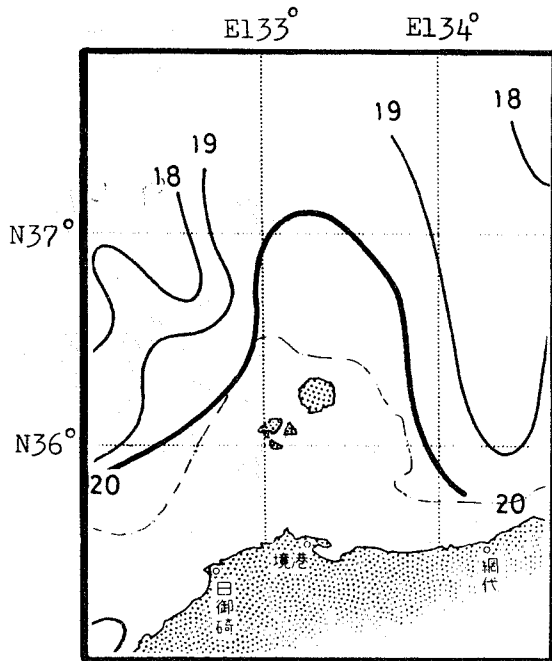
図-13(3) 鳥取県沖合の水温水平分布



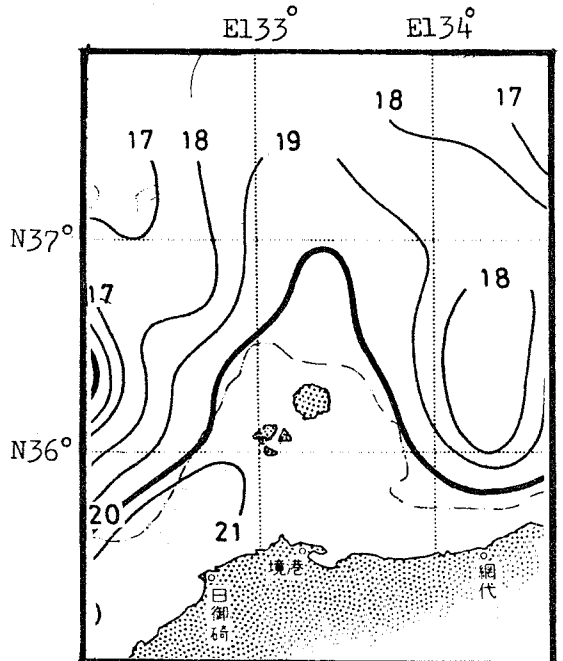
1982年10月上旬
表面水温(°C)



1982年10月上旬
50 m層

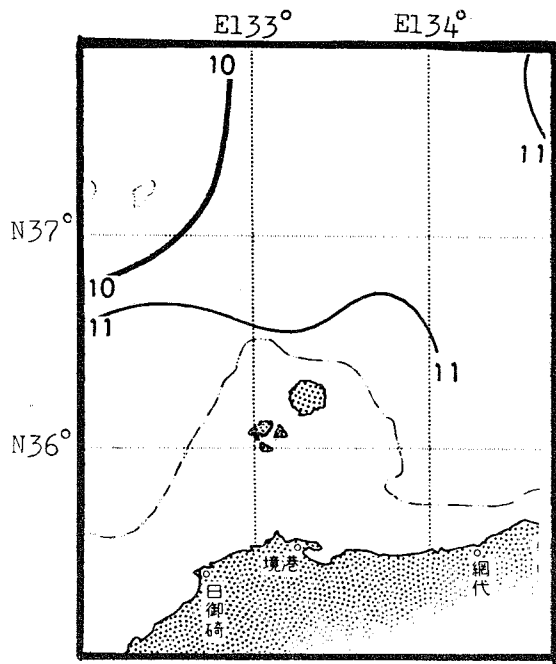


1982年11月上旬
表面水温(°C)

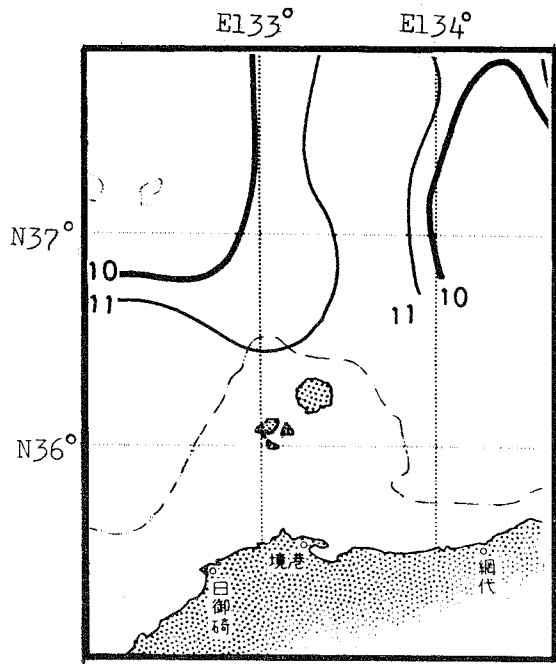


1982年11月上旬
50 m層

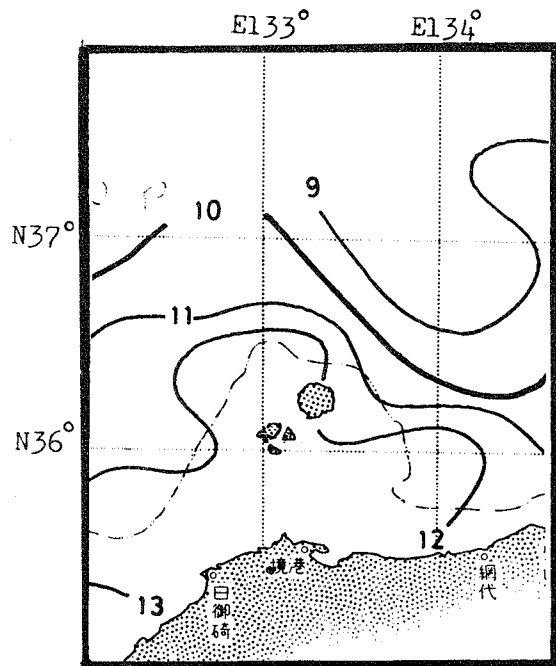
図-13(4) 鳥取県沖合の水温水平分布



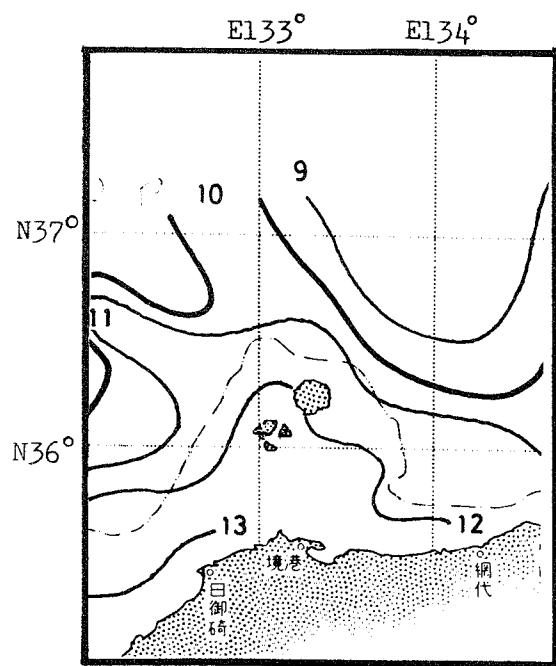
1983年2月上旬
表面水温(°C)



1983年2月上旬
50 m層



1983年3月上旬
表面水温(°C)



1983年3月上旬
50 m層

図-13(5) 鳥取県沖合の水温水平分布